

# おかや未来研究室 視察行程

日 程：令和7年7月30日（水）～8月1日（金）

- 飯綱町デジタル教育プログラムについて（飯綱町）
- 保養型観光、地域再生計画などについて（信濃町）
- 癒しの森について（信濃町）
- スノーピークについて（新潟県三条市）
- 燕三条地場産業振興センターについて（新潟県三条市）
- 地域自治区について（新潟県上越市）
- あらたなまちづくについて（新潟県糸魚川市）

## ◆7月30日（水）

7:00 10:00～12:00 12:00 ～ 13:00  
岡谷発 — **飯綱町役場(視察)** — **【昼食】** —  
(飯綱町デジタル教育プログラムについて)

飯綱町企画課様  
TEL 026-253-2511（代表）

13:00 ～ 14:40 15:00 ～ 17:00

**信濃町役場(視察)** — **童話の森ギャラリー体験室(視察)** —

(保養型観光などについて)

信濃町議会事務局 松木局長様  
TEL 026-255-2212（直通）

しなの町 Woods-LifeCommunity  
(癒しの森事業事務局) 大澤様  
TEL 026-255-5925（直通）

17:00

————— ホテル（宿泊）

黒姫高原ホテル TEL 026-255-3211

## ◆7月31日（木）

9:00 11:00～12:00 12:00～13:00  
ホテル発 — **スノーピークミュージアム** — **【昼食】** —

スノーピークミュージアム  
三条市中野原 456  
TEL 0120-010-660

13:15～16:15

燕三条地場産業振興センター（視察）

（燕三条地場産業振興センターについて）

（公財）燕三条地場産業振興センター様  
TEL 0256-32-2311（直通）

17:40

ホテル（宿泊）

ホテル法華クラブ新潟長岡  
TEL 0258-30-3151

◆ 8月1日（金）

8:30

ホテル発

10:00～12:00

上越市（視察）

（地域自治区について）

上越市議会事務局 村松様  
TEL 025-526-5111（代）（内線 1956）

12:15～13:15

【昼食】

14:00～15:30

糸魚川市キターレ

18:00

岡谷着

## [質問要旨]

### ●飯綱町

「飯綱町デジタル教育プログラム」について、その実施状況と導入の成果、今後の目標

飯綱町は、人口減少が進む中で、移住・定住の増加施策を推進しているが、教育分野へのアプローチが不足している。そこで本事業では、デジタル教材を活用し、飯綱町ならではの「特徴あるデジタル教育」を実施することにより、デジタル人材の教育デジタルを活用した既存産業の発展、さらには新たな産業を生み出すことによる地域活性化を図り、町の魅力向上を目指す。

#### ■自由進度学習：

同じ学習目標でありつつも方法（やり方）、進路、ゴールは一人ひとり違っていい。みんなが同じ空間の中で行える手段としてデジタル教材を活用。それにより共に学ぶインクルーシブ教育を実践。

キーワード：学び合い、教え合い、失敗感を恐れな、学び合い、教え合い、「やってみたい！」という意欲的、自信を持って自分の意見を言える。

#### ■デジタルスクール、デジタルキャンプ：

もっともっと学びたい子たちを支援。小学生高学年を対象に、プログラミングの基本的な知識を身につける「いいつなデジタルスクール」。長期休みを利用した、小学生たちがプログラミングとロボット工作を学ぶ合宿型プログラム「いいつなデジタルキャンプ」。

#### ■地元IT企業と連携・協力：

TOPPAN デジタル株式会社

2020年4月に「ICT KŌBŌ® IIZUNA」を開設。長野県地域での採用の拡大や、地域の様々な課題に対応することで、地域社会の活性化を図っている。

株式会社みみずや

廃校や遊休農地、空き家など地域の多様な資源を活用し、人づくりや産業づくりに取り組む。

「いいづなコネクト WEST」を拠点に、廃校フィットネスの運営、共創型農園の運営、アグリスポーツワーケーションなど、スポーツ・農業・教育を軸とした多岐にわたる事業を展開しています

株式会社 KEC Miriz (ケーイーシーミライズ)

奈良県を中心に学習塾などを運営する KEC グループが母体となり、教育にテクノロジーを活用する「EdTech (エドテック)」分野を手がける。

- ① デジタル教育プログラムの内容と取組み
- ② デジタル教育による自由進度学習との関連
- ③ 小学校、中学校の連携 少子高齢化、人口減少社会における課題
- ④ 先生方へのフォロー
- ⑤ 地元企業との連携

[質問要旨]

## ●信濃町

地域再生計画／二拠点居住／シティプロモーション／ファン増プロジェクト

- ① 安全・安心な観光地づくりプロジェクト（特に森林環境保全や外国人観光客の受入体制整備）について
- ② 滞在型観光コンテンツの造成プロジェクト（健康づくり×観光）の推進方法について
- ③ デジタル×観光＝信濃町ファン増プロジェクトの具体的推進方法について
- ④ 体験型による二地域居住の推進方法について
- ⑤ ソーシャルメディアを活用した魅力発信方法について
- ⑥ シン・デジタルデバイド支援による地域活力向上について

[質問要旨]

## ●三条市 燕三条地場産業振興センター

- ① 燕三条地場産業振興センターの内容と取組み
- ② 燕三条地場産業振興センターを公益社団法人とした背景と運営状況
- ③ コメリ、武蔵など商社機能、道の駅の役割
- ④ ネット販売（ふるさと納税を含む）、地域や行政のICT化推進
- ⑤ 海外展開のサポート拠点としての取組みと効果
- ⑥ ブランディングに至る道のり
- ⑦ デザイン、デザイナーの導入と

[質問要旨]

●上越市

「上越市の地域自治区について」

身近な地域を単位として設置される地域自治区には、住民の皆さん同士が話し合いを行い、地域の意見の取りまとめを行う「地域協議会」と、それぞれの地域における市民の皆さんのまちづくりをサポートする「事務所」が置かれています。

合併前の旧町村の区域に設置されている地域自治区は「13区」、平成21年10月1日から合併前の上越市の区域に設置した地域自治区は「15区」と表示しています。

■地域自治区制度を活用した住民等との協働（事例）

合併に際して、市の施設の管理業務のほかバスの運転業務等の市の委託業務を担うとともに、自主事業を実施するNPO法人が設立された。ともに、自主事業を実施するNPO法人が設立された。こうしたNPO法人は、地域協議会に対して情報の提供や意見の伝達を行っている。一方、地域協議会は、NPO法人等の意見等を踏まえ審議を行い、その結果を踏まえ、NPO法人に対して提言等を行っている。

（インターネットより）

① 地域自治区の概要について

- ② 上越市（行政）との関係について
- ③ 地域自治区の運営形態と加入状況、地域自治区との係わり
- ④ 少子高齢化、人口減少社会における課題
- ⑤ その他、課題と思われること